

・チェーンソー等を使用したの伐木作業

	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の打ち合わせ(KY)活動 作業人員の確認 作業位置・規制の確認 作業箇所・条件により機械の選定及び人員の配置を行う 使用機械の点検 保護具の点検 作業方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 伐木講習修了者を中心に編成、各種資格の確認 リスクアセスメントによる危険予知訓練の実施 規制簿の確認 担当者との打合せ 作業機械毎の手順書に準じる 運行前・使用前点検の実施 保護メガネ・すね当て等・フェイスガード・耳栓・安全帯・親綱等の確認 アームカバー・耐切創型手袋・防護衣の損傷が無いか確認する 担当者との打ち合わせ(現地にて作業方法の確認打ち合わせ)
ケーブル事前確認	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル露出箇所の確認 ハンドホール等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、現場責任者と刈り手でケーブル図面を確認しながらどこにケーブルが通っているか確認をし印付け及び作業員へ周知を行う ケーブルの周りをカム等人力で刈取(直径2m程度)目印つける(保護めがねの着用) ケーブルの立ち上がりが発見された場合は、引き込み箇所もあるので必ず確認を行う。 カム使用作業時の作業間隔を充分に開ける(3m程度) 刈り手に露出ケーブル等の場所の説明
作業開始	<ul style="list-style-type: none"> 木に登っての枝切り等作業 登る木の確認 木に登り伐採等作業及び下での補助作業 	<ul style="list-style-type: none"> 上下作業の禁止 無墜落胴綱安全帯の使用 転落、墜落、落下物、上下作業注意 安全器具・保護具の着用をする フェイスガードを必ず使用する(ノコギリ・ナタ等の使用時は保護メガネを使用する) 機具の落下防止処置 チェーンソー・カム・ナタ使用作業時の作業間隔を充分に開ける(3m程度) ①チェーンソーのキックバックに注意 ②チェーンソーの取扱は両手で行うこと ③作業中にチェーンソーの刃が伐木に食い込むなど不足の事態の場合はチェーンソーのエンジンを停止させてから対処をする チェーンソーの取扱については上記記載①②③同様の手順で行う 枝の張った樹木は伐倒の前に高所作業車を使用して、出来る限り枝を落とす。 チェーンソーの使用は肩より低い位置で作業を行う。 チェーンソーで切り下ろす場合は、押さえつけるような切り方はしない 幹を切断する際には、幹の重心を確認し、幹の下1/3をガイドバーの背(上側)を使って切り上げた後に幹の上部を切る。 チェーンソーの使用をする際は切創防止用保護衣(チャップス等)と耳栓の着用を行う。 バックカー車巻き込まれ注意。 ユニックの転倒注意。 風向きに注意しプロアー作業。 チェーンソー使用時はキックバックに注意し、状況に応じた防護衣を着用する。
作業終了と後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 切りくず・道具等の放置確認 リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施 使用機械の清掃、調整の実施

注意事項

- 伐木の知識の無い人はむやみに伐採しない。必ず現場指揮者の指示を仰ぐ。
- 木に登っての作業は危険なので必ず無墜落胴綱安全帯、保護具を着用し転落、墜落、落下物に注意し上下作業は禁止する。
- チェーンソー、ユニック、玉掛け等は有資格者による作業を行う。
- フェイスガードを必ず使用する(ノコギリ・ナタ等の使用時は保護メガネを使用する)
- 悪天候時は作業を中止する。
- チェーンソーの使用時間は次のとおりとする。連続10分以内 2時間以内/日
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。

1人作業の禁止

安全器具・保護具確認

【伐採作業対策】

- ヘルメット・安全チョッキ・安全帯・保護メガネ
- 耐切創型手袋**・すね当て・アームカバー
- 【熱中症対策】熱中症グッズ・涼しん帽
- 【蜂・マムシ対策】殺虫剤・ポイズンリムバー
- 耐切創用手袋・切創防止用保護衣・フェイスガード
- 【ケーブル事故防止対策】
- シュート・コンパネ・サクシオンホース

作業編成(標準)	員数	資機材
伐採者	1名	安全帯・チェーンソー・ナタのこぎり
補助員	1名	ロープ・梯子等